

多発する行動災害の発生状況について

～小売業、介護施設を中心に～

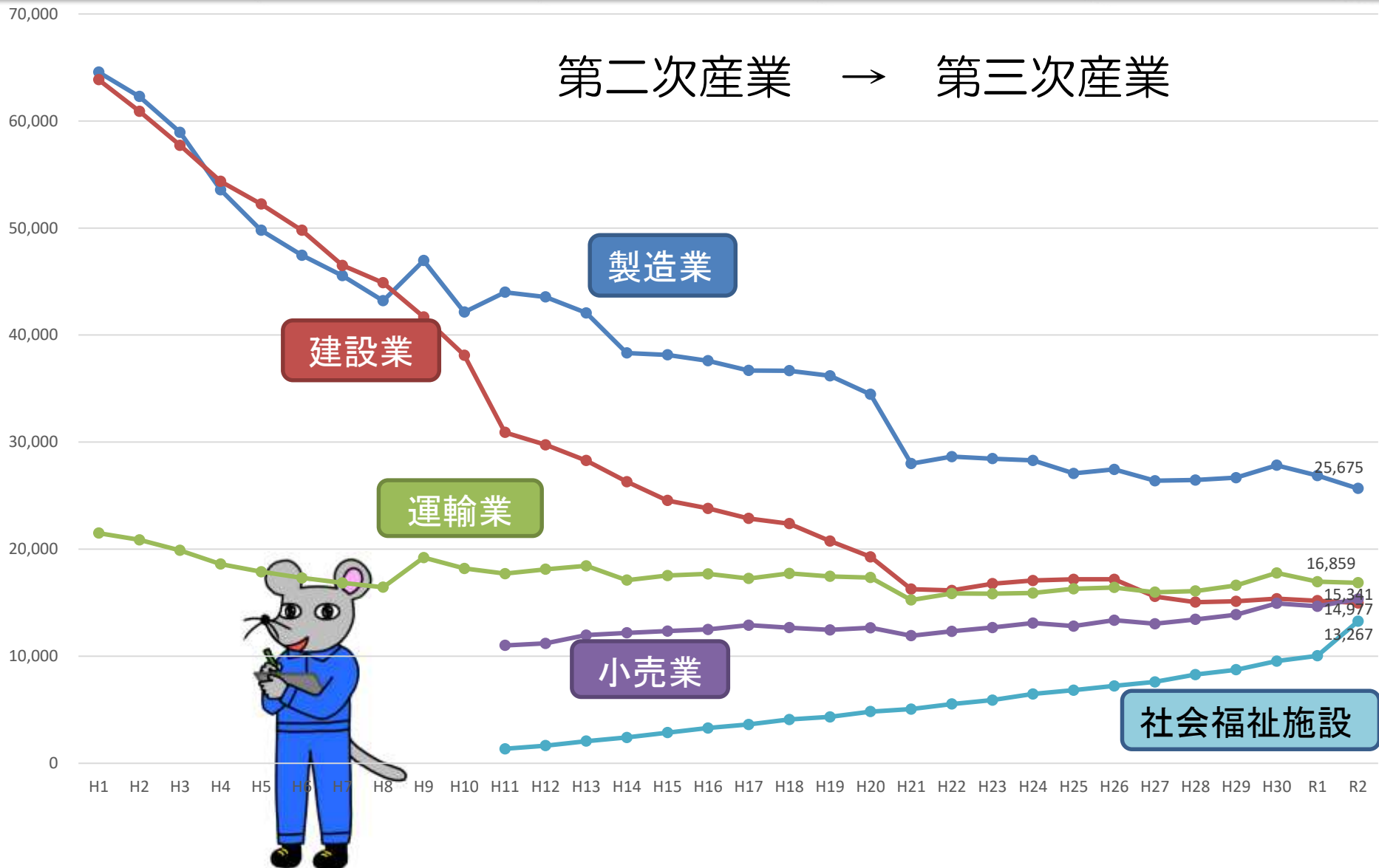


厚生労働省労働基準局安全衛生部

【課題①】 労働災害の推移(業種別)

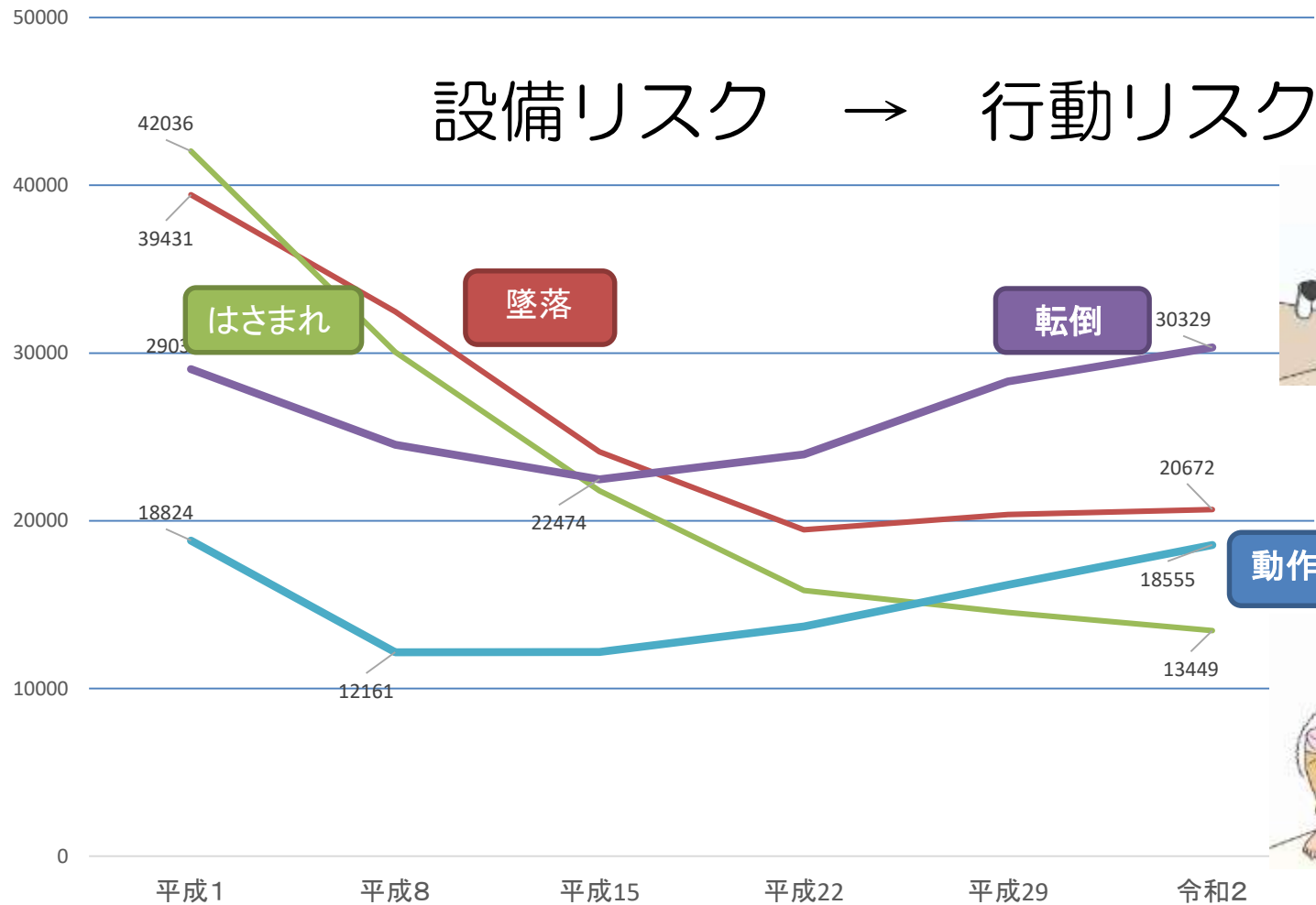
休業4日以上労働災害

第二次産業 → 第三次産業



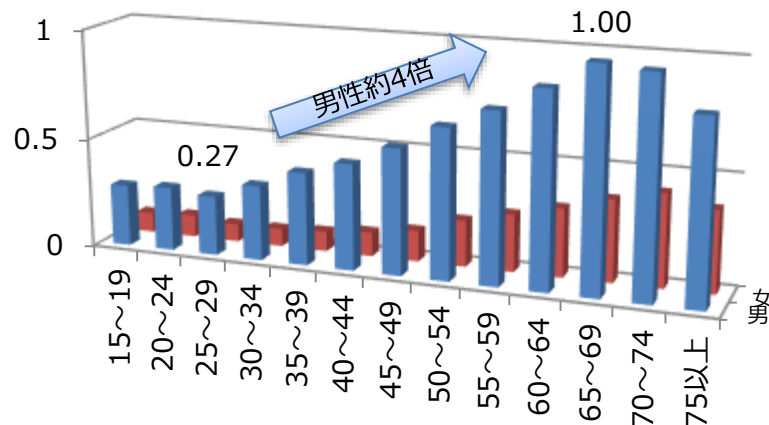
【課題②】 「事故の型」のトレンド

設備リスク → 行動リスク

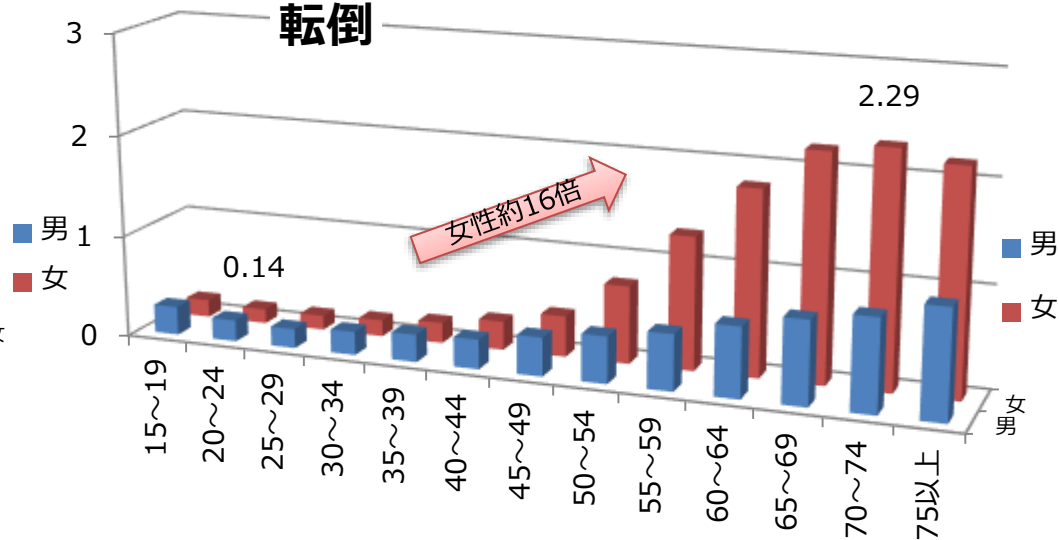


【課題③】 高年齢労働者の労働災害の特徴

墜落・転落



転倒



※千人率 = 労働災害による死傷者数 / その年の平均労働者数 × 1,000

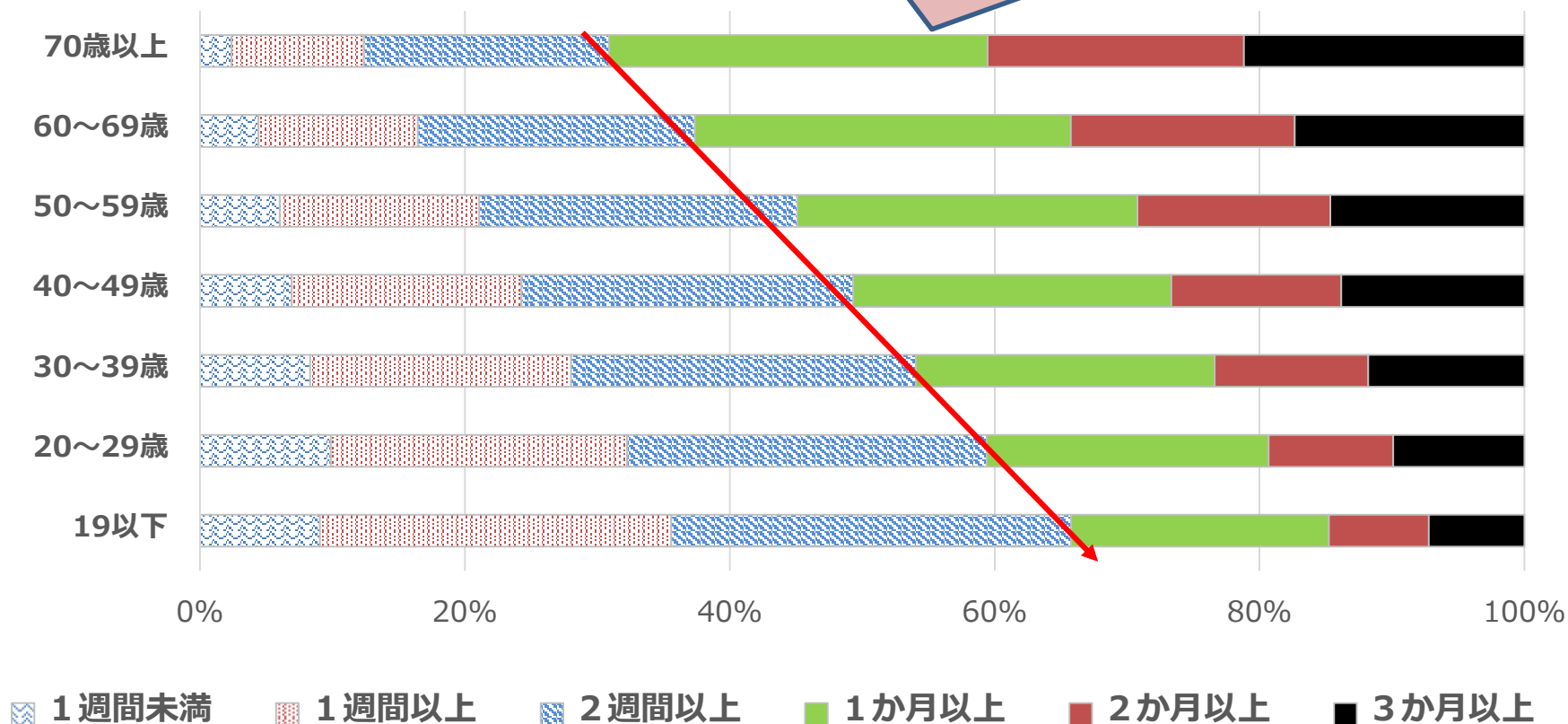
※便宜上、15~19歳の死傷者数には14歳以下を含めた

データ出所：労働者死傷病報告（平成31年／令和元年）

：労働力調査（基本集計・年次・2019年）

【課題④】 被災による休業見込み期間

重要な経営課題！



三原じゅん子副大臣が労災多発業種へ協力を要請 (2021年9月29日)

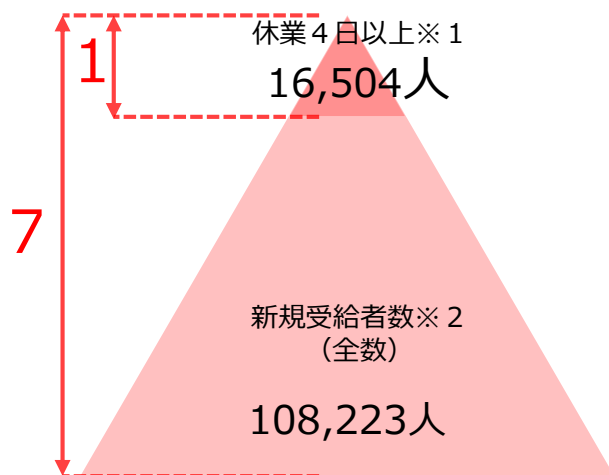


(業種例①) 小売業の労働災害発生状況

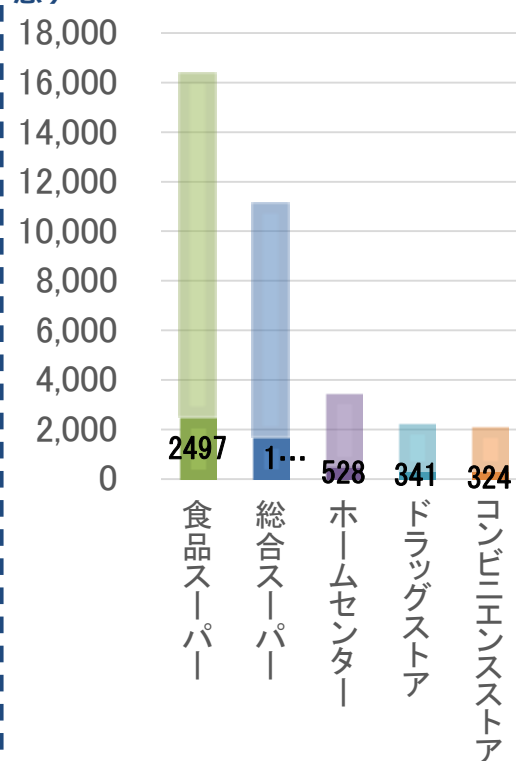
- 小売業の労働災害（休業4日以上）のうち業態別では、食品スーパー、総合スーパー、ホームセンター、ドラッグストア、コンビニエンスストアの順に多い。
- 上記全ての業態で転倒が最多で、動作の反動・無理な動作が次に多い。

卸売業・小売業の労働災害発生状況

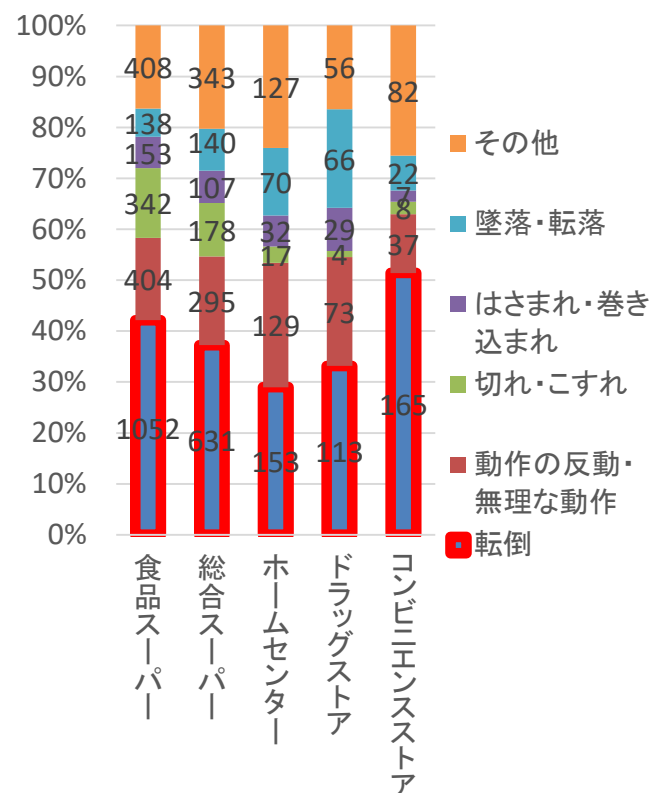
全体の労働災害は、
休業4日以上の労働災害の約7倍



小売業の業態別死傷者数（上位5業態）



小売業の業態別・事故の型別死傷者数



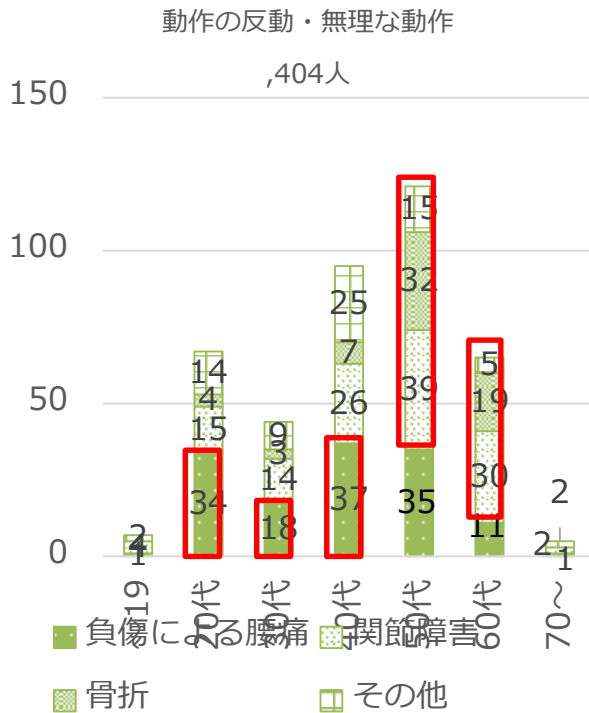
※ 赤字は左図の割合より全数を算出した推計

出典：平成29年 労働者死傷病報告を元に中央労働災害防止協会が集計したものより抜粋

※1 平成29年労働者死傷病報告より
 ※2 平成29年度労働者災害補償保険事業年報より
 (新規受給者数は通勤災害を含む年度単位の集計)

食品スーパーの労働災害発生状況

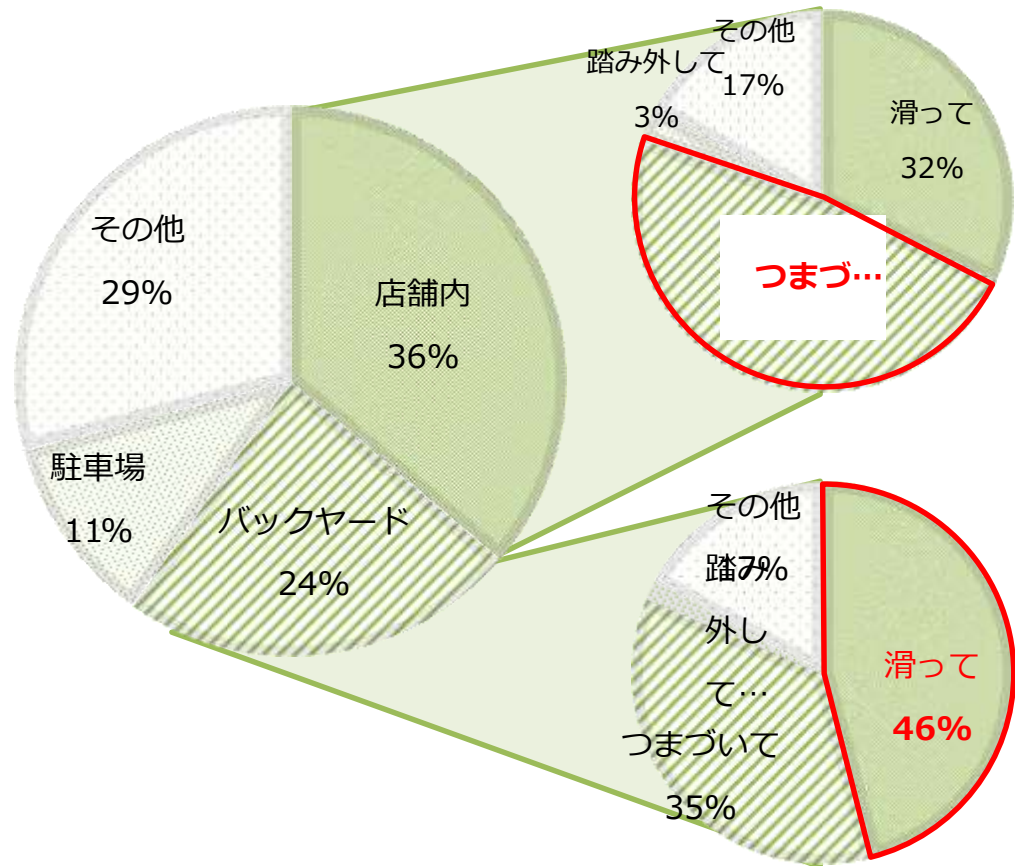
動作の反動・無理な動作 年代別・傷病性質別



50代以降で関節障害、骨折が多い

転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年に食品スーパーで発生した転倒による労働災害1,052件から502件を抽出して集計したもの

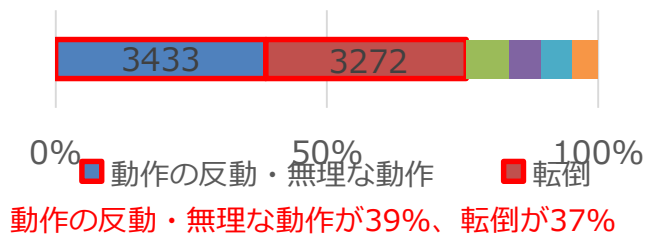


出典：平成29年 労働者死傷病報告を元に中央労働災害防止協会が集計したものより抜粋

(業種例②) 社会福祉施設での「動作の反動・無理な動作」

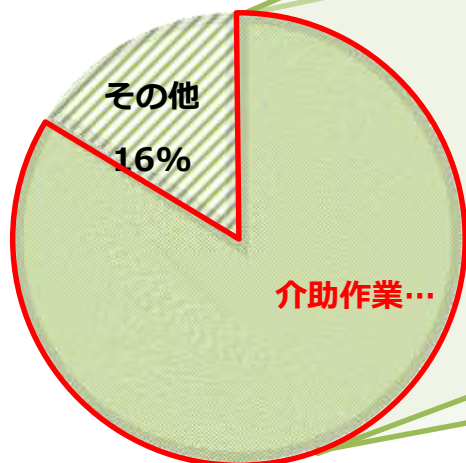
- 社会福祉施設における動作の反動・無理な動作を作業別にみると**介助作業での被災が84%**
- 介助作業をより細かく分類すると、**ベッド上での介助作業とベッド移乗作業を合わせて52%**
- 介助作業を一人介助か複数人での介助か分類すると、**一人介助での被災が89%**

事故の型別

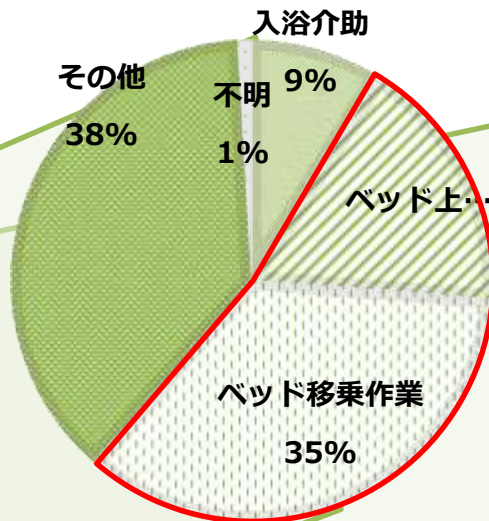


出典：令和元年労働者死傷病報告より。

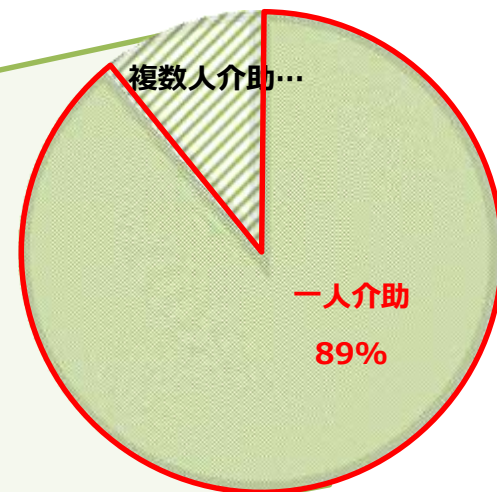
動作の反動・無理な動作 作業別



動作の反動・無理な動作 介助作業別



動作の反動・無理な動作
一人介助・複数人介助別



出典：令和元年労働者死傷病報告より。社会福祉施設で発生した休業4日以上労働災害10,045件から抽出した767件のうち動作の反動・無理な動作の268件を集計したもの。